

2022年6月12日 聖日礼拝

インターネットの礼拝映像配信は9時より。11時からは録画を視聴できます。

後	祝	頌	献	会衆賛美	説	聖書朗読	使徒信条	礼拝祈祷	交	主の祈り	会衆賛美	会衆賛美	前	6月12日 聖日礼拝
奏	禱	栄	金	聖歌 6 2 8	教	創世記 30 章 1 節 ~ 8 節	ラケルの嫉妬		詩篇 1 9 篇 1 ~ 14 節		聖歌 3 3	神の国と神の義を (2 回)	奏	
報告		聖歌 3 7 6		聖歌 6 2 8			穂谷弘二牧師						招	
感謝祈祷													詞	
													イザヤ書 49 章 13 節	
													「天よ、喜びの声をあげよ。地よ、小躍りせよ。山々よ、歓喜の声をあげよ。主がご自分の民を慰め、その苦しむ者をあわれまれるからだ。」アーメン	

■聖歌 3 3 「ああ言葉のかぎり」

- ① ああ言葉のかぎり うたわまほし 主イエスの栄えと 愛と恵み
- ② 御名のかしこさを 伝えまほし よものたみくさに よもの島に
- ③ うれいも恐れも 消えさるなり 命をあとうる きよき御名に
- ④ いかなる けがれも きよめつくさん 血潮のちからの あるかぎりは

■「神の国と神の義を」

神の国と神の義を まず求めなさい

そうすればみな与えられる ハレル ハレルヤ

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名をあげめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用の糧を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを ころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇19篇1～14節

- 1 天は神の栄光を語り告げ
 大空は御手（みて）のわざを告げ知らせる。
- 2 昼は昼へ話を伝え 夜は夜へ知識を示す。
- 3 話しもせず 語りもせず その声も聞こえない。
- 4 しかし その光芒（こうぼう）は全地に
 そのことばは世界の果てまで届いた。
 神は天に 太陽のために幕屋を設けられた。
- 5 花婿のように 太陽は部屋から出て
 勇士のように 走路を喜び走る。
- 6 天の果てから それは昇り
 天の果てまで それは巡る。
 その熱から 隠れ得るものは何もない。

- 7 主のおしえは完全で たましいを生き返らせ
 主の証しは確かだ 浅はかな者を賢くする。
- 8 主の戒めは真っ直ぐで 人の心を喜ばせ
 主の仰せは清らかで 人の目を明るくする。
- 9 主からの恐れはきよく
 とこしえまでも変わらない。
 主のさばきはまことであり
 ことごとく正しい。
- 10 それらは 金よりも 多くの純金よりも慕わしく
 蜜よりも 蜜蜂の巣の滴（したた）りよりも甘い。

- 11 あなたのしもべも それらにより戒めを受け
 それを守れば 大きな報いがあります。
- 12 だれが 自分の過（あやま）ちを悟ることができるでしょう。
 どうか 隠れた罪から私を解き放ってください。
- 13 あなたのしもべを 傲慢（ごうまん）から守ってください。
 それらが私を支配しないようにしてください。
 そのとき私は 大きな背（そむ）きから解き放たれて
 全（まった）き者となるでしょう。
- 14 私の口のことばと 私の心の思いとが
 御前（みまえ）に受け入れられますように。
 主よ わが岩 わが贖い主（あがないぬし）よ。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる共同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 創世記30章1～8節

- 1 ラケルは自分がヤコブに子を産んでいないのを見た。ラケルは姉に嫉妬し、ヤコブに言った。「私に子どもを下さい。でなければ、私は死にます。」
- 2 ヤコブはラケルに怒りを燃やして言った。「私が神に代われるというのか。胎の実をおまえに宿らせないのは神なのだ。」
- 3 彼女は言った。「ここに、私の女奴隷のビルハがいます。彼女のところに入り、彼女が私の膝に子を産むようにしてください。そうすれば、彼女によって私も子を得られるでしょう。」
- 4 ラケルは彼に女奴隷ビルハを妻として与えたので、ヤコブは彼女のところに入った。
- 5 ビルハは身ごもり、ヤコブに男の子を産んだ。
- 6 そこでラケルは、「神は私をかばってください、私の声を聞き入れて、私に男の子を与えてくださった」と言った。それゆえ、彼女はその子をダンと名づけた。
- 7 ラケルの女奴隷ビルハは再び身ごもって、ヤコブに二番目の男の子を産んだ。
- 8 そこでラケルは、「私は姉と死に物狂いの争いをして、ついに勝った」と言って、その子をナフタリと名づけた。

■聖歌 628 「救い主イエスと」

- ①救い主イエスと共に行く身は 乏しきことなく恐れもあらず
イエスは安きもて 心たらわせ 物事すべてを 良きになしたもう
物事すべてを 良きになしたもう
- ②坂道に強き 御手をさしのべ 試みのときは 恵みをたもう
弱きわが魂（たま）の 渴くおりしも 目の前の岩は さけて水わく
目の前の岩は さけて水わく
- ③いかに満ちみてる 恵みなるかや 約束しませる 家に帰らば
わが魂（たま）は歌わん 力の限り 君に守られて 今日まできぬと
君に守られて 今日まできぬと

■頌栄 聖歌 376 「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・招詞 招詞を読みます
- ・賛美 歌います
- ・主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・交読 交読箇所を読みます
- ・礼拝祈禱 次の言葉を祈りましょう
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・使徒信条 使徒信条を告白します
- ・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・賛美 歌います
- ・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・頌栄 頌栄をささげます
- ・祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上に とこしえにありますように アーメン」